



平成29年度 年末年始無災害運動



実施期間 2017年12月15日～2018年1月15日

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、昭和46年から厚生労働省の後援のもと中央労働災害防止協会が主唱する運動で、本年度で47回目を迎えます。1年の締めくくりを笑顔で送り、災害のない明るい新年を迎えるために、「安全最優先」の考え方を基本に、あわただしい時期にこそ、作業前点検の実施、安全な作業方法の確認などを着実に実施しましょう!!

本年度の標語



異常なし! ダブルチェックで念入りに 年末年始もゼロ災害



日々、安全の勉強中です!!



今回は入社8ヶ月で初小屋ツアーに挑戦中の東京 技術部 吉永あいさんの特集です!!

吉永さんの周る某グループのコンサートツアーでは20箇所以上のホールが組み込まれております。小屋によって安全に対する考え方の違いがありますよね。ヘルメット着用を義務付けていたり、山台上は安全帯の携帯厳守など、様々です。

ツアー真っ只中の吉永さんに安全についてインタビューしてみました!!

・初小屋ツアーを迎えて...

小屋によって様々なルールがあり、搬入条件等も違うので、しっかり学んで、次に活かせるようにしていきたいと思います。また、小屋ツアーはセクション関係なく、互いに助け合ってステージを仕上げていくように感じましたので他セクションの方ともコミュニケーションを取りつつ、皆で怪我、事故なく無事ツアーを終えることを目指したいと思います。

・小屋の転換は何をしましたか?

可動の照明ラダーの転換と、初めて綱場の転換をしています。

・その転換の難しい点は何ですか?

綱場で赤の別珍幕をあげることを任されており、初動がかなり重く、かなりの力が必要で大変でした。バトンが波打たないように滑らかにアップさせる箇所と最後に印が付いている箇所綺麗に止めるのが難しかったです。

安全に心がけていることは?

仕込み時に、照明のラダーを立ち上げるために、アルバイトが多数必要なので、その際に怪我をしないようにしっかりとお互いの目を見て、声をかけるように心掛けています。

・準備もしくは仕込み中ヒヤリハット(これ危ないな)と思ったことありましたか?

アウトリガーのジャッキが持ち方によっては落ちるようになっており、アルバイトがアウトリガーを持った際、ジャッキを足の上に落下させ、危険だと思いました。運んでくるようにアルバイトにお願いする事自体は問題ないですが万一でも、怪我をしないようにそのような箇所まで気を配っておかなければならないと実感しました。



▲安全の極意を教えてくださる先輩方
▶先輩の指導の元、綱場に挑戦中

